

小さな安心がつくる

伊勢原中学校3年 坂上 紅芭

夕方の帰り道、綺麗な空を眺めたり、揺れる植物に囲まれて自然を感じたりしながら、よくいろんなことを考えます。その日の出来事や悩み事、明日の予定は何だったのだろうか、休日は何をしようか、いろんな感情を抱きながら、たくさん考えます。家の中では、好きな映画を選んで観たり、家族と何気のない会話を楽しんだりします。他にも、ご飯を食べるときには、おいしい、嬉しいと感じますし、落ち込む出来事があれば悲しいと感じます。こんな何気のない人生の一欠片で、私は平和を感じています。そしてほっとしながら、こんなことがあったかと、今までの日々を思い返すことができます。そうやって思い返すことも、平和を感じることに繋がっているのではないかと思います。

ですがこのような自由で平凡な日常は、決してどこでも当たり前のようにあるものではありません。私の生活は、いたって平凡で自由な日常ですが、いつも心のどこかで少しほっとできるような平和な日常です。では、例えば戦争をしている国の人々の日常はどうでしょうか。いつ来るのかもわからない爆弾や銃声に怯えたり、突如襲撃されて死も間近の危険に襲われたりしながら暮らすのは、とても平和な暮らしを送ることができるとはいえません。その中で落ち着いて、安心したりすることなどできるはずがないと思います。

私は、自分や誰かが何気のない日常を送ることができる自由や、その人自身が様々な感情を持つことができる自由を失ってしまうのが悲しいです。戦争は実際に経験したことがないので、資料やニュースから想像することしかできないけれど、自分のことのように考えたいと思います。戦争中、不安や悲しみ、恐怖を抱き、そんな中で生きていけばきっと、かつて戦争が起こる前に自由に沢山抱いていた、ほっとするなどの平和な感情や日々を忘れてしまうのではないかと思います。また、戦争をしている国でその真っ最中に生まれたり、育ったりした小さい子供がもしいたら、その子は小さい時に平和というものを満喫することはできないし、知ることもないかもしれません。それに対して私は、日常にも感情にも、自由があります。不安や悲しみ、恐怖などを感じるがあっても、平和な感情や日々を少しでも知ったり、楽しむことができました。

平和を知るために大切なのは、豊かな感情と、自由で平凡な日常を知ることなのだと思います。私はそれを知ったからこそ、今の日常を平和と感じ取ることができました。そしてそれは、そのような日常の中に安心があるからだだと思います。実際に、私はいつも心のどこかで小さな安心を持っていて、だからこそいろんな感情を持てますし、日常が平和だと感じることもできます。戦争のない場所で暮らす人々は、心のどこかで安心を感じているのではないのでしょうか。こうしたことから、平和とは、安心があるからこそ感じ取ることのできるものだと思います。

私は誰もが、心のどこかで小さな安心をいつも持てる世の中になってほしいです。安心があれば感情や日常を大切にできて、平和だと感じることもできるからです。今のこの世界には、安心を持っている人もそうでない人も沢山いると思います。戦争をなくして人々に沢山の安心を届ける、というのはすぐに自分ができることではありません。できることは小さいかもしれないです。それでも私はこれから、いろいろな人に相手をよく考えながら接したり、優しくしたりしたいです。その一つ一つの言動がきっと、誰かの小さな安心をつくっていくのだと思うから。